


現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月20日	
NO	1
場所	敷地
部位	全景
	



令和5年2月20日	
NO	2
場所	A B棟 (A棟)
部位	A X 1 ~ A X 1 0 通り
A棟部分 (A X 1 ~ A X 1 0 通り) の基礎全景。	
	



令和5年2月20日	
NO	3
場所	A X 9 通り
部位	F G 1 1 (基礎梁)
F G 1 1 (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋: 2/2-D22)	
	



現況検査により認められる状況の記録

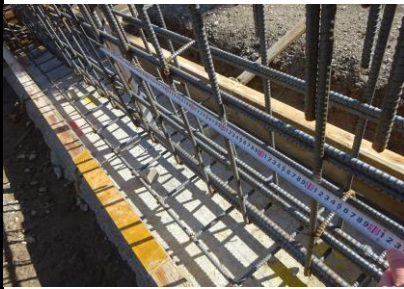
令和5年2月20日	
NO	4
場所	AX 9 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
同上。(下端主筋: 2/2-D22)	



令和5年2月20日	
NO	5
場所	AX 9 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
主筋の圧接継手部が適切な位置(隣り合う主筋の圧接継手位置との間隔: $a \geq 400\text{m}$ 以上)として施工が行われていることを確認。	




令和5年2月20日	
NO	6
場所	AX 9 通り
部位	FG 1 1 (基礎梁)
FG 1 1 (基礎梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋: D13 @200mm)	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月20日	
NO	7
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
せん断補強筋のフック折り曲げ部の余長が適切 (135° : D13×6=78mm以上) であることを確認。	




令和5年2月20日	
NO	8
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
同上。(腹筋 : 2-D13@300mm以下)	




令和5年2月20日	
NO	9
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
梁天端補強筋が計画通り (通し筋 : 2-D13、せん断補強筋 : D13@200) であること、その他、定着寸法L2 (455mm=D13×35) が確保されていることを確認。	





現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月20日	
NO	10
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
同上。	




令和5年2月20日	
NO	11
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
同上。腹筋の重ね継手長さが十分 (L2 : 455mm以上) であることを確認。	




令和5年2月20日	
NO	12
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
フーチング部のベース筋 (D13@200mm) ・配力筋 (2-D13) が計画通りであることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

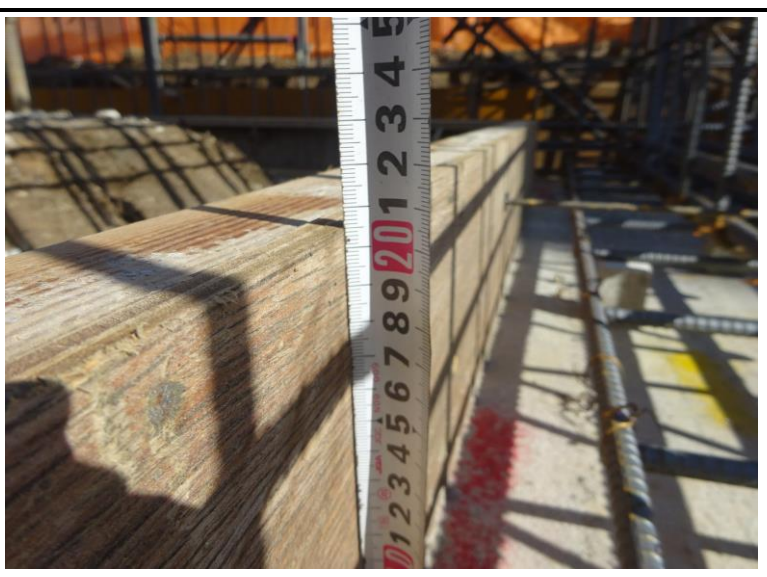
令和5年2月20日	
NO	13
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
<p>ベース筋下部には、鉄筋かぶり厚さ(60mm以上)が適切に確保できるようサイコロ(スペーサー)が設置されていることを確認。</p>	
	



令和5年2月20日	
NO	14
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
<p>フーチング部分の型枠が適切(フーチング幅:600mm)に設置されていることを確認。</p>	
	



令和5年2月20日	
NO	15
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
<p>同上。(フーチング高さ:200mm)</p>	
	

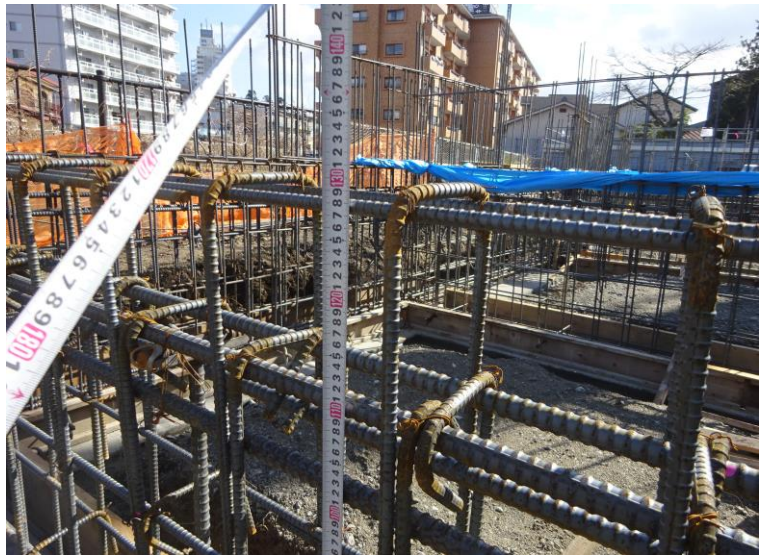


現況検査により認められる状況の記録


令和5年2月20日	
NO	16
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
同上。フーチング側面部分の鉄筋かぶり厚さ60mm以上が確保される状況であることを確認。	




令和5年2月20日	
NO	17
場所	AX9通り
部位	FG11 (基礎梁)
基礎梁成+梁天端補強の出来形が計画通りであることを確認。基礎底盤下端～スラブ天端：1,350mm	

令和5年2月20日	
NO	18
場所	AX9通り
部位	人入口
人入口（開口部）上下部のせん断補強筋は、計画通りD13@100mmとなっていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月20日	
NO	19
場所	AX9通り
部位	人道口
人道口（開口部）上下部には、計画通り横補強筋2-D13（ $\phi 1400$ 以上）が設置されていることを確認。	




令和5年2月20日	
NO	20
場所	AX9通り
部位	人道口
人道口（開口部）廻りには、計画通り斜め補強筋4/2-D13が設置されていることを確認。	




令和5年2月20日	
NO	21
場所	AX9通り
部位	人道口
人道口（開口部）左右部には、計画通り縦補強筋2/2-D13が設置されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月20日	
NO	22
場所	AY3通り
部位	FG1 (地中梁)
FG1 (地中梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(上端主筋: 2/2-D22)	




令和5年2月20日	
NO	23
場所	AY3通り
部位	FG1 (地中梁)
同上。(下端主筋: 2/2-D22)	



令和5年2月20日	
NO	24
場所	AY3通り
部位	FG1 (地中梁)
FG1 (地中梁) の鉄筋組が計画通りであることを確認。(せん断補強筋: D13@200mm)	



現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月20日	
NO	25
場所	AY3通り
部位	FG1 (地中梁)
同上。(腹筋: 2-D13@300mm以下)	



令和5年2月20日	
NO	26
場所	AY3通り
部位	FG1 (地中梁)
同上。(幅止め筋: D10@1000mm以下)	



令和5年2月20日	
NO	27
場所	AY3通り
部位	FG1 (地中梁)
基礎梁成+梁天端補強の出来形が計画通りであることを確認。基礎底盤下端~スラブ天端: 1,350mm	




現況検査により認められる状況の記録

令和5年2月20日	
NO	28
場所	AX9, AY3 通り
部位	基礎梁接続部
FG11 (基礎梁) ~ FG1 (地中梁) の接続部では、FG11の主筋が必要定着長さ: L2 (D22×35=770mm以上) を確保していることを確認。	




令和5年2月20日	
NO	29
場所	AX9, AY3 通り
部位	基礎梁接続部
同上。	




令和5年2月20日	
NO	30
場所	AY3 通り
部位	端部曲げ補強筋
計画通りに端部曲げ補強筋 (当該箇所は 4-D16) が設置されていることを確認。	